

機械器具 3 医療用消毒器

小型未包装品用高圧蒸気滅菌器 JMDN コード 40547020

管理医療機器 特定保守管理医療機器

スーパークレーブSG330V

**【警告】

1. 滅菌室連成計の針が「0」の時以外は絶対にドアを開けないでください。[火傷や怪我をする恐れがあります。]
2. 滅菌器は、被滅菌物は高温になるので火傷に注意すること。

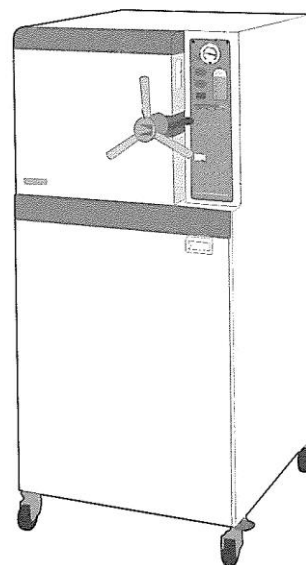
5. 被滅菌物を直接スノコ板あに置かないこと。
[被滅菌物を焦がす原因になりますので、必ず専用のカスト等を使用してください。]
6. 連続運転は行わないこと。[全工程が終了した直後に滅菌を行いますと、ヒーターが熱くなっているため、給水時に水が沸騰して水位検出が早く行われて~抱きとなる恐れがあります。]完了ブザーが鳴った後、被滅菌物を取り出し、ドアを少し開き20分以上の冷却時間を置いてから次の滅菌をスタートすること。

**【禁忌・禁止】

1. 蒸気を通さない容器・袋に被滅菌物を入れて滅菌しないでください。[滅菌不良や故障の原因になります。]
2. 培地・液体・薬品を滅菌しないでください。[薬品類は爆発を起こしたり、機器を腐食させたりするものがあり、火傷や怪我の原因になります。また排水時にチャンバー内の圧力が急激に低下する為、容器から培地などが飛び散り、配管やバルブに詰まり、故障の原因になります。]
3. 可燃性麻酔剤などが存在する引火性のある環境で使用しないでください。[防爆型の機器ではないため、引火又は爆発を誘引する可能性があります。]
4. 作動させたまま外出は危険です。診療終了後、高圧滅菌器を作動させたまま帰宅し、翌朝取り出すという使い方は絶対に行わないこと。[異常発生の場合の即時対応が行えず、事故に繋がる恐れがあります。]

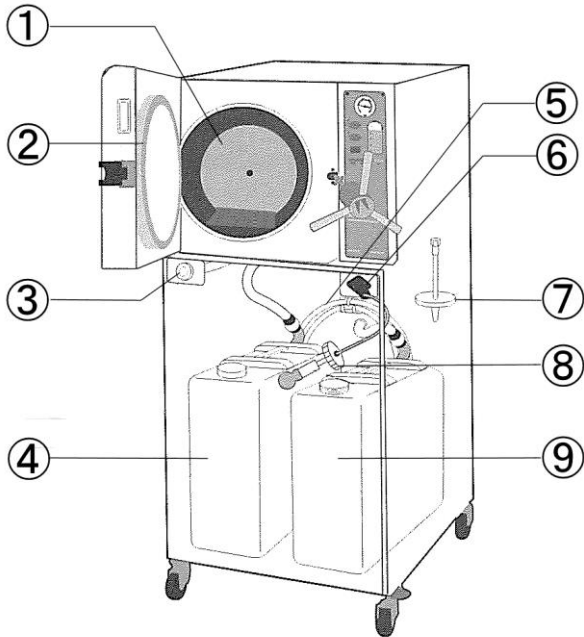
【形状・構造及び原理等】

本体外観



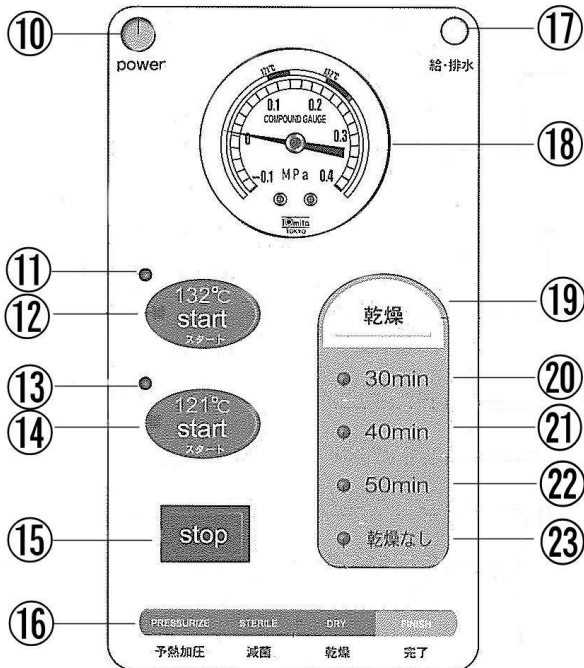
取扱説明書を必ずご参照ください

各部の名称



No.	名 称
①	滅菌チャンバー
②	ドアパッキン
③	真空ポンプ用タンク注水口
④	給水ポリタンク
⑤	真空ポンプ用タンク排水ホース
⑥	給・排水警告センサー取付コネクター
⑦	無菌フィルター
⑧	給・排水警告センサー
⑨	排水タンク
⑩	電源ランプ
⑪	滅菌温度 132℃スタートキーセレクトランプ
⑫	滅菌温度 132℃スタートキー
⑬	滅菌温度 121℃スタートセレクトランプ
⑭	滅菌温度 121℃スタートキー
⑮	ストップキー
⑯	一体型プロセスモニター
⑰	給・排水警告ランプ
⑱	連成計
⑲	乾燥時間セレクトキー
⑳	30min 乾燥ランプ
6	乾燥ランプ
7	50min 乾燥ランプ
8	乾燥なしランプ

コントロールパネル



詳細については取扱説明書の「4. 各部の名称」
「5. コントロールパネルの名称」を参照してください。

取扱説明書を必ずご参照ください

**【作動・動作原理】

本器は、高圧蒸気による医療用具の滅菌器であり、設定した時間で滅菌から乾燥までフルオートマチックに行います。水を入れた給水ポリタンクから滅菌チャンパーに給水され、滅菌チャンパーより排水ポリタンクへ水が排水されます。また、マイコン・サーミスタ方式により温度制御を行います。

<仕様等>

スーパークレープ SG330V

外寸法	W593mm×D670mm（ハンドル部82mm含まず）×H1290mm
チャンパー有効寸法	φ316mm×D460mm
チャンパー収容力	丸カストφ27cm×2個 専用角カストE33×2個 収納カゴ330×1個
操作方法	フルオートマチック
給水・排水方式	自動給水（給水タンク15L） 自動排水（排水タンク15L）
滅菌温度	121℃/132℃
滅菌時間	121℃：20分 132℃：5分
温度制御	マイコン・サーミスタ方式
滅菌サイクル	滅圧-滅菌-乾燥-完了
滅菌のみサイクル	滅圧-滅菌-完了
乾燥のみサイクル	乾燥-完了
乾燥時間	30分（標準設定）/40分/50分/0分（キー選択）
乾燥方式	水封式真空ポンプによる強制乾燥
安全装置	空焚き防止装置・圧力安全弁・ブレーカー
重量	128kg
付属品	給水タンク1個（20L）・排水タンク1個（20L）・スノコ板1枚・二段スノコ1枚・排水フィルター1個・注水タンク1個（5L）・給排水警告センサー1個

【使用目的又は効果】

本器は高圧蒸気により、医療用具等を滅菌するために使用するものです。

【操作方法又使用方法等】

1. 電源スイッチを「入」にします。連成計が「0」であることを確認して被滅菌物を滅菌チャンパーに入れ、ハンドルが回らなくなるまで締めます。
2. 滅菌温度をセレクトし、いずれかのスタートキーを押します。
3. 標準の乾燥時間は30分です。乾燥時間セレクトキーを押すことで乾燥時間を変更できます。
4. 完了が点灯したら、連成計が「0」であることを確認して、ハンドルを回し、ドアを開き、被滅菌物を取り出してください。

詳細につきましては取扱説明書の「8. 操作方法」を参照してください。

【使用上の注意】

<使用方法>

1. 落下、転倒などによる衝撃が加わった場合は直ちに使用を中止してください。[外観に異常がない場合でも、内部が破損している可能性があります。]
2. 本器の分解、改造をしないでください。
3. 異常時（焦げ臭いなど）は運転を中止し、電源プラグを抜いてください[異常のまま運転を続けると、感電や火災の原因になります。]
4. 電源コードを傷つけないでください。
5. 保守点検、清掃は電源を切ってから行ってください。
6. 濡れた手で電源プラグに触らないでください。
7. 電源プラグの抜き差しはプラグを持って行ってください。
8. 本器の上に水の入ったものを置かないでください。[水がこぼれた時に内部がショートして感電の原因になります。]
9. 医師または医療従事者の指導により熟練した人以外は使用しないでください。
10. 長時間使用しなかった場合は点検を受けるなど、作動上の安全を確認してからご使用ください。
11. 電源プラグは必ずコンセントに取り付け、延長コードへの接続による使用はしないでください。
12. 真空ポンプ用タンクに水を入れたまま移動させないでください。[水がこぼれたり、給・排水タンクの水が逆流し、感電の原因になります。]
13. 運転中や冷却中にチャンパー周辺に触れないでください。[高温によりやけどの原因になります。]
14. 滅菌直後の被滅菌物の取出しには注意してください。被滅菌物が高温になっており、またドアを開けることにより蒸気が出ますので、手や顔のやけどの原因になります。
15. 締め付けハンドルを左に回しすぎないでください。回しすぎると外れるようにできており、落下して破損やけがの原因になります。
16. 水のかからない場所に保管してください。
17. 直射日光や紫外線照射下に長時間放置しないでください。
18. 使用中に警報が鳴った場合は取扱説明書の「13. 警報及び対処方法」に従って対処してください。
19. 長期間ご使用にならないときは、本器の電源プラグをコンセントより取り外してください。また真空ポンプ用タンク/給排水ポリタンクの水は捨て、給排水ポリタンクの内部をよく洗ってください。
20. 本器は水平かつしっかりした床に設置し、また側面、後ろ面は壁から5cm以上離して設置してください。

詳細については取扱説明書の「3. 安全上のご注意」「7. 設置方法」「8. 操作方法」を参照してください。

**【保管方法及び使用期間等】

<貯蔵・保管方法>

水ぬれに注意し、直射日光及び高温多湿を避けて保管すること。

<耐用期間>

保守点検及び専門業者による定期点検を適切に実施して、製造出荷後7年。（自己認証による）

取扱説明書を必ずご参照ください

**** 【保守・点検に係る事項】**

＜使用者による保守点検事項＞

取扱説明書の「10. 定期点検」「11. お手入れ方法」を参照して以下の事を行ってください。

1. 清掃は電源スイッチを「切」にして、連成計の針が「0」になっていること、本器が冷めていることを確認してから行うこと。
2. 滅菌チャンパー内の清掃
水又はアルコールを染み込ませた柔らかい布でチャンパー内を拭き取り清掃してください。／毎日
3. ドアパッキンの清掃
水又はアルコールを染み込ませた柔らかい布でドアパッキンを拭き取り清掃してください。／毎日
4. 水位センサーのお手入れ /1週間に1回
5. 排水フィルターのお手入れ /1週間に1回
6. 給水タンクのお手入れ /給水ごとに内部洗浄
7. 真空ポンプ用タンクのお手入れ /1ヶ月1回
8. 排水フィルターのお手入れ /1週間に1回
9. ドアパッキンの交換 /1年に1回
10. 無菌フィルターの交換 /1年に1回

＜業者による保守点検事項＞

2年に一度、弊社指定の専門業者による点検を行うこと。

取扱説明書の「10. 定期点検」「11. お手入れ方法」を参照してください。

**** 【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】**

製造販売元

ヒルソン・デック株式会社

埼玉県鴻巣市宮前 547-1

TEL 048 (595) 0380

製造元

ヒルソン・デック株式会社

埼玉県鴻巣市宮前 547-1

取扱説明書を必ずご参照ください